

- ・公特「黒部2次地区」スタート
- ・四半世紀ぶりの再会(十二貫野トンネル)
- ・目標達成に向けて「小水力発電」
- ・土地改良区紹介「朝日町土地改良区」
- ・放棄地が学童農園に
- ・研修会などの開催案内

# 新川水土里たより

第2号  
平成21年11月16日  
新川農林振興センター  
農業農村整備事業広報・広聴推進連絡会  
〒937-0863 魚津市新宿10-7  
電話(0765)22-9138【指導課】

## 公特黒部2次地区 汚染農地ゼロに向けてスタート

十一月二日(月)、黒部市新牧野で県営公害防除特別土地改良事業「黒部2次地区」の地鎮祭が執り行われた。地元から黒部市長、地区関係者をはじめ農地組合役員等、当センターからは永森所長、担当職員が出席し、総勢六十名が工事の安全と事業の成功を祈願した。

刈初めの儀は黒部市新牧野



刈初めの儀は黒部市新牧野  
十一月二日(月)、黒部市新牧野で県営公害防除特別土地改良事業「黒部2次地区」の地鎮祭が執り行われた。地元から黒部市長、地区関係者をはじめ農地組合役員等、当センターからは永森所長、担当職員が出席し、総勢六十名が工事の安全と事業の成功を祈願した。

## 目標達成に向けて！「小水力発電」

近年、地球温暖化が急激に進んでいることに伴い、異常気象や平均気温の上昇などにより、災害による人的被害や農業生産への影響も深刻化しております。そこで、国、県では農村地域における地球環境問題への対応として、CO2排出削減による社会づくりを進めていくことや土地改良施設への電力供給を行い、土地改良施設の維持管理費の軽減を図るため、農業

水利用施設を活用した小水力発電施設の導入を推進しています。

新川農林振興センターでは、11月6日に管内の関係市町並びに土地改良区職員を集めて、「小水力発電の説明会」を開催しました。説明会では、小水力発電の必要性や施工にかかる補助制度、事業に関する手続きの流れなどを説明し、管内の農業水利施設への導入に向けて理解を深めました。

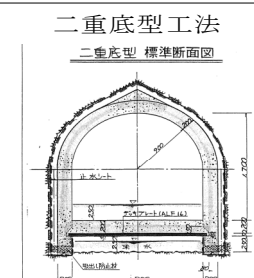


愛本新発電所

## 四半世紀ぶりの再会！ (十二貫野用水第一号トンネル)

十月末、所内研修の一環として、私が技師時代に関わった「十二貫野用水第一号トンネル」と約二十五年ぶりに現場再会させていただいた。

宇奈月温泉山側の十二貫野用水の水源尾沼谷と宇奈月谷間を延長一・八kmの直線で結ぶ水路トンネル工事です、昭和五十七年九月に着工し六十年十一月に完成した。掘削約1km地点で想定外の断層破砕帯に遭遇し、切羽崩落や大量湧水(最大毎分十ト)に苦しめられた。最終的には一部迂回ルートとし、湧水を分離処理するため独自の二重底型工法を採用して完成した現場であった。



研修メンバーと

「黒部2次地区」として用途地域内の汚染農地復元事業に着手している。地区の復元対象面積は三十一・七畝、総事業費約二十一億円となっており、工期は平成二十六年までとなっている。

地鎮祭では、「刈初めの儀」等が厳粛に行われた後、堀内黒部市長が

「黒部2次地区」として用途地域内の汚染農地復元事業に着手している。地区の復元対象面積は三十一・七畝、総事業費約二十一億円となっており、工期は平成二十六年までとなっている。

「関係各位の協力をもって、工事の安全と円滑な事業推進を図りたい」との話があった。

本地区は、当事務所では初めてとなる用途地域内での工事となることか



黒部市の住民「トキメキ」

「汚染米ゼロへ全力で取り組む」とあいさつ、ま音・振動などへの配慮が特に求められる。

【農村整備課】  
水利防災班

## 土地改良区紹介 朝日町土地改良区

朝日町土地改良区は、『美しい農村環境の保全と調和のとれた土地改良区』を目指し、平成二十三年三月に四つの土地改良区(旧・境、朝日町、大庄、山崎)の合併により誕生しました。地形的には平坦部に比べ山岳部が圧倒的に多く、河川により形成された豊かな自然・文化・環境を背景に、受益面積一四五四畝、組合員数二二三名の土地改良区を形成しています。

営農状況は、水稲作を主としており、転作田には、大豆・野菜・チュー

朝日町土地改良区は、『美しい農村環境の保全と調和のとれた土地改良区』を目指し、平成二十三年三月に四つの土地改良区(旧・境、朝日町、大庄、山崎)の合併により誕生しました。地形的には平坦部に比べ山岳部が圧倒的に多く、河川により形成された豊かな自然・文化・環境を背景に、受益面積一四五四畝、組合員数二二三名の土地改良区を形成しています。

営農状況は、水稲作を主としており、転作田には、大豆・野菜・チュー

朝日町土地改良区は、『美しい農村環境の保全と調和のとれた土地改良区』を目指し、平成二十三年三月に四つの土地改良区(旧・境、朝日町、大庄、山崎)の合併により誕生しました。地形的には平坦部に比べ山岳部が圧倒的に多く、河川により形成された豊かな自然・文化・環境を背景に、受益面積一四五四畝、組合員数二二三名の土地改良区を形成しています。

営農状況は、水稲作を主としており、転作田には、大豆・野菜・チュー

朝日町土地改良区は、『美しい農村環境の保全と調和のとれた土地改良区』を目指し、平成二十三年三月に四つの土地改良区(旧・境、朝日町、大庄、山崎)の合併により誕生しました。地形的には平坦部に比べ山岳部が圧倒的に多く、河川により形成された豊かな自然・文化・環境を背景に、受益面積一四五四畝、組合員数二二三名の土地改良区を形成しています。

営農状況は、水稲作を主としており、転作田には、大豆・野菜・チュー

トンネルの姿が確認でき、大変感慨深い想いがあった。

なお、トンネル湧水は、今もなお宇奈月温泉街の水道用水として有効利用されている。

【技術次長 山本健次】

トンネルの姿が確認でき、大変感慨深い想いがあった。

なお、トンネル湧水は、今もなお宇奈月温泉街の水道用水として有効利用されている。

【技術次長 山本健次】

トンネルの姿が確認でき、大変感慨深い想いがあった。

なお、トンネル湧水は、今もなお宇奈月温泉街の水道用水として有効利用されている。

【技術次長 山本健次】

十一月十二日(木)、魚津市北山地区内の学童農園で魚津市坪野小学校の児童十二人がダイコンやカブの収穫体験をしました。

この農園は、耕作放棄された土地を今年七月下旬に地元関係者と県職員総勢四十人が草刈り(再生作業)を行い、八月下旬に坪野小児童が種まき及び苗の定植作業を行った場所です。

十一月十二日(木)、魚津市北山地区内の学童農園で魚津市坪野小学校の児童十二人がダイコンやカブの収穫体験をしました。

この農園は、耕作放棄された土地を今年七月下旬に地元関係者と県職員総勢四十人が草刈り(再生作業)を行い、八月下旬に坪野小児童が種まき及び苗の定植作業を行った場所です。

十一月十二日(木)、魚津市北山地区内の学童農園で魚津市坪野小学校の児童十二人がダイコンやカブの収穫体験をしました。

この農園は、耕作放棄された土地を今年七月下旬に地元関係者と県職員総勢四十人が草刈り(再生作業)を行い、八月下旬に坪野小児童が種まき及び苗の定植作業を行った場所です。

この日、子どもたちは大きく育ったダイコンを目を丸くし、収穫の喜びに浸っていました。収穫したダイコンやカブは児童に配られ、残った分は

この日、子どもたちは大きく育ったダイコンを目を丸くし、収穫の喜びに浸っていました。収穫したダイコンやカブは児童に配られ、残った分は

この日、子どもたちは大きく育ったダイコンを目を丸くし、収穫の喜びに浸っていました。収穫したダイコンやカブは児童に配られ、残った分は



【企画振興課】

【研修会などの開催案内】

◎とやまの棚田写真展  
昨年度の受賞作品の巡回展示を行います。管内各市町で開催を予定しておりますので、この機会には是非ご覧ください。

十一月二十九日(日)に開催される「三世代交流学習発表会」の際に、豚汁や漬物の材料として利用される予定です。

なお、学校関係者からは別の野菜も栽培したいとの意向があり、この取組を来年も続ける予定にしています。

【募集期限】  
※12月10日(木)  
皆さんふるってご応募下さい。高価景品が当たりますよ。



小川頭首工

【編集後記】  
インフルエンザが猛威をふるっています。当センターでも職員が感染し、職員本人は健康であったにもかかわらず、感染の恐れがあるため、自宅待機を余儀なくされています。

予防は何と言ってもうがい・手洗いです。新型では特に手の消毒が重要と。当センターにもアルコールジェル等が配置されました。

今月も健康に気をつけ、元気に過ごしましょう。  
「オオノ記」



【オオノ記】